

モデリングで思考力を鍛える

4 年 「伝えたいことをはっきりさせて書こう ～新聞記者になろう～ （書くこと）」

村上市立瀬波小学校 杉崎 弘周

1 私はこうして思考力を鍛えた

今回の実践では、「文章のよいところを見付けたり、間違いなどを正したりすること」の指導として、添削（推敲）の仕方を学ぶ活動を取り入れた。「新聞記事を書くときに気を付けたことができているかどうかに注意して読み直そう。」といっても、どこに気を付けてよいか分からない児童、できているのかが分からない児童がいる。そこで、新聞記事を書く際の手紙用紙にチェック項目を設け、チェックのために着目する点を示し、モデリングで実際のやり方を教えて、到達点となる基準を知らせた。こうすることで、推敲（添削）の活動を通して、思考力を鍛えることをねらいとした。

2 実践の手立て

添削（推敲）の観点を示した手紙用紙を用いて、推敲の仕方を身に付けさせることをねらいとした。友達の書いた記事の下書きを添削する時には、文章表現や内容に目が行きがちである。そこで、



- ① 観点を絞り、チェックの方法を示した手紙用紙を用いて添削を行わせ、全員が一定の基準で添削することができるようにした。
- ② いくつかの記事をモデルに従って添削することで、正しい推敲（添削）の仕方を身に付けさせた。推敲（添削）の際に、例えば「構成＝最初の段落に『5W1H』の内容、第2段落に具体的な取材事項、最後の段落に意見や感想 となっているかどうか。」というように、着目する点を基準として示したことで、一定の水準で添削（推敲）が行うことができるようにした。

3 成果と課題

成 果

- モデリングによって、考えを働かせながら添削（推敲）活動を行うことができた。
- チェック項目を示した手紙用紙が有効に働き、児童一人一人が迷うことなく添削に取り組むことができた。
- 基準を示したことで、一定の水準で添削（推敲）が行われた。

課 題

- 児童がモデルに従ってチェックを行ったことで、一定の水準を保ったものの、なかにはチェックの結果が分かれたものもあった。チェックのできばえに関するフィードバックを与える機会がなかった。

今後の取組み

- ◇添削（推敲）活動においてモデリングが有効であったことから、書く活動や読む活動においても、モデリングの方法を応用して取り入れていく。
- ◇思考のプロセスにおいて重要であるフィードバックを必ず行い、モデルに対する達成度を自分で認識することができるようにする。